

1 児童アンケート 集計結果

令和6年11月実施

[4 : よくあてはまる 3 : ややあてはまる 2 : あまりあてはまらない 1 : まったくあてはまらない]

番号	評 価 項 目	全学年合計（人）				
		平均点	4	3	2	1
1	学校は楽しい。	3.59	389	184	21	7
2	仲の良い友達がいる。	3.91	550	49	0	2
3	クラスにいじめはない。	3.28	325	168	59	49
4	先生や友だちに元気よくあいさつをしている。	3.53	368	193	33	7
5	そうじをまじめにやっている。	3.60	390	186	21	4
6	授業中は集中して学習に取り組んでいる。	3.60	394	177	28	2
7	わからないときは質問している。	3.20	265	215	96	25
8	家での学習をしっかりとやっている。	3.64	425	137	35	4
9	本をよく読んでいる。	3.22	300	161	111	29
10	体育の時間は、体をうごかすことができている。	3.65	424	147	26	4
11	朝ごはんを食べている。	3.86	548	26	22	4
12	手洗いやうがいなど、病気にならない生活を心がけている。	3.70	440	145	14	2
13	先生の教え方は、わかりやすい。	3.77	487	92	19	3
14	先生はそうだんにのってくれる。	3.80	498	88	12	3
15	先生は悪いことをしたときは、きちんとしかってくれる。	3.88	540	52	5	4

2 保護者アンケート集計結果

長与町立長与南小学校		
令和6年12月 実施		
アンケート回収率	90%	564 人
児童数		628 人

番号	評 価 項 目	平均ポイントと実数（人）				
		平均点	4	3	2	1
1	学校は、学校だよりや学年・学級通信などで、教育目標や子どもの学習・生活の様子を家庭へ知らせている。	3.70	401	151	10	0
2	学校は、PTAや地域、関係団体との連携を図り、協力的である。	3.52	312	232	15	2
3	学校は、子供にわかる授業づくりに努め、学力向上に取り組んでいる。	3.58	335	215	10	0
4	学校はいじめの実態把握や早期発見に努め、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	3.39	238	299	17	3
5	学校は、子どもや保護者の連絡、相談に適切に対応している。	3.64	369	186	5	2
6	学校は、校舎内外の環境美化、整備に努めている。	3.38	266	246	46	4
7	学校は、体育の時間などの活動を通して体力づくりに努めている。	3.51	305	230	22	0
8	学校は手洗いなどの衛生に関する指導を行うなど子どもの健康に関する対応に努めている。	3.52	304	242	12	1
9	お子さんは、毎日朝ごはんを食べるなど規則正しい生活を送ることができている。	3.66	396	146	17	3
10	お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている。	3.42	294	217	44	8
11	お子さんは、進んで家族や地域の方に挨拶している。	3.18	192	289	75	8
12	お子さんは、家庭で学習する習慣が身についている。	3.16	199	271	79	15

3 教職員アンケート 集計結果

令和6年12月 実施

[4 : よくあてはまる 3 : ややあてはまる 2 : あまりあてはまらない 1 : まったくあてはまらない]

番号	評 価 項 目	教職員合計 (人)				
		平均点	4	3	2	1
1	【広報活動の充実】日頃から保護者に学年通信、学級通信等を通して、学校の教育方針が理解されるよう努力を行った。	3.23	12	14	3	1
2	【開かれた学校づくり】家庭との連携や行事、授業参観、ねらいを明らかにした校外学習の実施等を通して、家庭や地域との連絡を密にし、開かれた学校づくりに努めた。	3.61	19	12	0	0
3	【特別支援教育】特別支援学級や通級指導教室へ通う児童、全ての児童の実態の実態や困り感を理解し、指導の改善や充実に努めた。	3.64	23	13	0	0
4	【教育相談】日頃の児童観察や「なかよしアンケート」、家庭からの連絡などを通して児童の実態などを把握し、適切に対応するように努めた。	3.70	25	7	0	1
5	【情報管理】児童や保護者・家庭環境などに関する各種の情報の取扱いについて細心の注意を払った。	3.90	35	4	0	0
6	【やりがいのある職場づくり】学校教育目標を基軸として、子どもの成長を願い、校務分掌等、任された仕事の充実に努めた。	3.63	25	12	1	0
7	【働きやすい職場環境】協働性・同僚性、または環境面などから本校は働きやすい職場環境だと感じる。	3.56	23	15	1	0
8	【教科指導の充実】学力向上のために教材研究に努め、明確な指示や発問の工夫などによるわかりやすい授業の展開に心がけるなど、授業改善に努めた。	3.63	21	10	1	0
9	【学習環境・学習規律の統一】長与南スタンダード(学習に関する共通理解・共通実践)を意識して、板書や机上の整理、ノートの取り方等、よい習慣が身につくように指導できた。	3.44	14	18	0	0
10	【学習環境・学習規律の統一】授業改善メソッドを意識したためあてやまとめ、振り返りの時間を位置づけ、本時の授業づくりを行うことができた。	3.29	11	18	2	0
11	【基礎学力の定着】ドリルやAIドリルの活用、ながよ検定テキストの計画・継続的な指導を通して、漢字、計算の習熟を図った。	3.41	12	14	1	0
12	【基礎学力の定着】家庭と連携して、主体的な家庭学習の充実に努めた。	3.21	8	13	3	0
13	【校内研究】校内研究の話し合いの中で、決まったことを実践し、研究全体の具現化に貢献するように努めた。	3.27	10	19	0	1
14	【国際理解】外国語科や外国語活動・総合的な学習の時間などを通して、ふるさと学習や英語に慣れ親しみながら、日本や外国への国際理解が深まるよう指導の改善や充実に努めた。	3.29	9	13	2	0
15	【道徳教育の充実】道徳の全体計画をもとにして、年間指導計画に沿って、週に1時間、心に響く道徳科の授業を展開することができた。	3.33	8	12	1	0
16	【いじめ0・いじめ防止対策】子供の生活の実態把握に努め、いじめ0に向けた日常的な取組を行った。	3.42	13	11	2	0
17	【不登校0】居心地のよい学級、学びがよいある学級を創造し、不登校0に向けた日常的な取組を行った。	3.08	12	4	8	1
18	【あいさつ】学校や地域で顔を見て、元気な声であいさつができる子供の育成を図った。	3.45	19	17	2	0
19	【言葉遣い】日常生活や授業の中で、友達を思いやる言葉遣いについて考える場を設け、指導した。	3.71	25	10	0	0
20	【落ち着いた生活】落ち着いた学級・学校生活を創造するために、正しい廊下歩行や教室移動などの仕方について、指導を行った。	3.68	23	11	0	0

21	【勤労生産的な活動】共働・黙動による清掃活動を行い、美しい学校づくりにつながる心の指導を行った。	3.74	27	7	1	0
22	【基礎体力の向上】体育の授業における運動量を確保し、また外遊びを推奨し、子供たちの体力づくりを促した。	3.40	12	12	0	1
23	【健康教育の推進】「五ザル」や「ノーマディア」などの取組を通して、健康的な生活の充実に努めた。	3.61	17	11	0	0
24	【健康教育の推進】手洗いなど衛生に関する指導を通して健康教育の推進に努めた。	3.66	21	11	0	0
25	【食育の推進】給食時間や各教科の指導の中で、食育の推進に努めた。	3.60	18	12	0	0
26	【安全教育の推進】交通安全・不審者対応・防災などに関する指導を継続的に行った。	3.72	21	8	0	0
27	【安全教育の推進】教室環境や教材の保管など安全への配慮は適切に行った。	3.77	27	8	0	0
28	【安全教育の推進】「長与南小学校 生活のきまり」を子供たちが理解し、そのきまりを守った生活が送れるよう、継続的に指導を行うことができた。	3.50	17	14	1	0

令和6年度 長与南小学校 学校運営協議会 学校関係者評価

○ 評価者 学校運営協議会委員6名

元学校評議員 1名 町議会議員 1名 コミュニティ会長 1名

自治会長 1名 主任児童委員 1名 PTA会長 1名

○ 評価方法

1月下旬に紙面で教職員による自己評価を説明した。その後、本校の自己評価の妥当性についてご検討いただき、評価者6名全員から紙面でご意見をいただくことができた。

【評価結果】

○児童、保護者アンケート結果分析に基づいた学校評価の方法は適切である。

○学校評価の結果は妥当である。

1 豊かな心の育成 評価3 (妥当である6名)

- ・安心して登校し楽しい学校生活が送れる基盤には、いじめのない学校づくりが前提であると思う。その土壌づくりをしっかりとやってくれている学校であるから子供たちの本来の伸びやかな姿を見ることができる。
- ・以前より注視すべき事柄だが、成果が出て改善されているように思う。南小の子はシャイな子が多い。元気で活発な子に育ててほしい。
- ・挨拶はこちらから言うと大きな声で答えてくれる。知らなければ、なかなか言えない。
- ・児童アンケート3(=学級にいじめはないです)についての改善、対応は。
- ・→低学年の割合が高かったことからアンケートを再実施したところ、アンケートの質問がわかりにくく誤った回答をした子供が多かったことが分かった。次年度はわかりやすい質問に変更していく。
- ・いじめ根絶についての意識は、今後も高いレベルで維持していただきたいと思う。

2 基礎学力の充実 評価3 (妥当である5名、妥当ではない1名 評価3→4)

- ・分からないところを分かることができた嬉しさは学ぶ原動力になり子供の生活全体に力を与え、さらなる高みに挑戦しようとする態度を養ってくれる。気軽に聞ける雰囲気づくりも大切。
- ・国、県学力調査で県一位であり十分達成できていると思う。(評価4)
- ・登校時にお互いに知っていることを教え合っている。私も知らないことを教えてもらっている。
- ・ながよ検定について、発達特性に応じた配慮は素晴らしいと思う。学校組織の取組として継続していただきたい。
- ・児童アンケート7(=私はお勉強が分からないとき、先生や友達に質問しています)では、ネガティブな評価(1or2)18%となっている。詳細な分析が必要では。
- 高学年を中心に、質問することに躊躇している子供が見られる。話しやすい学級の雰囲気づく

りや授業で対話や協働の学習をさらに取り入れていく。

3 健康安全教育の推進 **評価3** (妥当である6名)

- ・早く登校する子に理由を聞くと、友達と遊ぶ約束をしているそうだ。楽しそうに行っている。
- ・五ザルの取組は日頃の生活を見直す日としての効果があるので今後も継続、充実したものとなるように期待している。各家庭の意識を高めるチャンスだと思う。

4 特別支援教育の充実 **評価3** (妥当である6名)

- ・児童一人一人の発達特性に応じた支援の工夫が感じられる。一人一人を大切にしたい教育活動を今後も続けていただきたい。

5 国際化への対応 **評価3** (妥当である6名)

- ・担任とALTとのTT指導であると子供は安心して取り組み、さらに学ぼうとする意欲も生まれると思う。
- ・この地域は外国人にふれる環境ではないと思うので、先でもいいと思う。
- ・国際理解教育については、外国語科だけでなく様々な教育活動の中で取り組んでいただきたいと思う。

6 教育環境の整備 **評価3** (妥当である6名)

- ・もくもく掃除の実践継続は本校の特色として子供一人一人に根付くものと思う。家庭生活についても協力をお願いし、勤労生産的活動の向上にもさらにつなげてほしい。
- ・町民一斉清掃にはみんな出てきて、大人と一緒に働いている。

7 教職員の資質向上 **評価3** (妥当である6名)

- ・授業での全学級においてICT活用により学習スタイルが確立し、板書の構造的な活用により理解も深まったと思う。さらなる先生方の授業改善を期待している。
- ・近所の子供が学校で落ち着かなくて保護者から相談を受けたが登校するときは話もしてくれる。地域の行事にも必ず参加してくれている。ゆっくりと見てほしい。
- ・授業改善に向け先生方の認識が統一されていることに校長先生の学校経営力、教頭先生をはじめとした先生方の学校運営力を感じる。

【本校の教育活動をよりよくするという視点からのご意見】

- ・昼休みの見守り活動をさせていただくようになり、子供たちの姿を身近に感じ笑顔あふれる活動を肌で感じさせてもらっている。本来の学校と地域の関係が戻ったような嬉しさでいっぱいである。学校教育活動の多くの場面で地域の方々の協力が得られる機会をつくってほしいと思う。地域は学校からの声かけを待っているものと確信している。長与町には、まだまだそのような風土がたくさん残っている。
- ・難しい教育現場で頑張っておられる先生方に敬意を表する。
- ・組織の成熟度はリーダーの資質にかかっているが、校長先生のリーダーシップは誰もが認めると

ころである。そのもとで今後、教職員、保護者とともに協同して教育の充実に精進してほしい。
教職員みなさんの努力に敬服する。

- ・学校もいろいろと教育活動が多きたいへんだが子供たちが学校で楽しい思い出をたくさんつくてほしい。地域でも季節行事を三世代で取り組んでいる。
- ・コロナ禍のときからやっと通常の生活に戻り学校にも活気が出てきたような気がする。児童アンケートのいじめの数値が気になるので配慮を。
- ・ICT 機器の積極的活用で子供たちの学ぶ意欲の向上に今後とも取り組んでほしい。ただ、文字を書くという活動や時間は大切であると感じる。家庭での学習の ICT 機器と、紙と鉛筆による学習は同程度の割合でしていただければと思う。考え方が古いのかもしれないがタブレットの画面を眺めながらの宿題（学習）ばかりはどうなのかと感じる。
- ・アンケート評価に関しては、どれも高い評価で学校の取組が充実していると感じる。次は、学校外での子供たちのあいさつや良い行動等の数値が向上することを期待している。これには家庭の意識の向上が必要である。PTA 活動で少しでも意識を変えられたらと思う。
- ・今後も若手の先生方が増加し、組織運営、人材育成について難しさが増してくると思うが、校長先生を中心として組織力を高め様々な負託に応えられる南小であることを願っている。

いじめ問題に関する評価の実施状況

評価項目	評価観点等の内容	評価	分析及び改善策
1 日頃の児童生徒理解	・細やかな児童観察と児童の意識調査を継続し、一人一人が安心して学校生活を送ることができるように努める。	3	・毎学期、全児童に「学校生活アンケート」を実施。日頃の児童観察と併せてアンケートをもとに個人面談を行い、学校は一人一人が安心して生活できる場であることを全児童が認識できるように努めた。次年度も取組を継続し、児童理解に努めていく。
2 未然防止や早期発見	・細やかな児童観察と児童の意識調査を継続し、いじめの実態把握に努め、児童が発する信号を見逃さないよう早期発見に努める。	3	・児童への学校生活アンケートや個人面談に加え、保護者面談でもいじめについて情報を共有し実態把握を行った。職員間でも、「いじめはどの学級でも起こりうる」ことを共通理解し、専科教員や同学年と連携し、いじめの未然防止や早期発見に努めた。
3 いじめへの迅速適切な対応	・いじめが生じた際、学校全体で迅速に対応できる体制を整備する。	3	・いじめ事案が発覚した場合、すぐに担任、同学年、関係職員、管理職が集まり事実確認を行った。その後、当該児童への指導はもちろん、保護者へ連絡して家庭と連携した指導を行い、解決するまで観察に努めた。
4 組織的な取組	・いじめが生じた際、学校全体で組織的に対応できる体制を整備する。	3	・校長の指示のもと、生活指導主任を中心に関係職員を集めてケース会議を開き対応を協議した。学校全体で対応する体制づくりができたことで担任や同学年はいじめ事案の解決に向けて安心して取り組むことができた。
5 方針等の共有 (保護者・地域)	・いじめの対処方針や指導計画を明確にする。 ・方針や取組を保護者、地域と共有し、理解や協力を得る。	3	・本校の「いじめ防止基本方針」を全職員で共通理解するとともに、学校ホームページでも公開し家庭や地域にも周知した。 ・学校運営協議会で本校の教育方針を説明し、地域にも協力をお願いした。今後も継続して、本校のいじめ防止に関する基本方針への理解と協力が得られるよう努力していく。
6 その他 (上記以外の項目あれば記入)			

※ 評価 (4. 3. 2. 1)